

るが、なにはともあれ、身体に障害が
あろうと無かろうと、教師ゆえのもの
に「心に障害はなし」と木目の細かい、
対話による心の喚起と手厚い指導が、
なにもまして大切かを、N子の電話
で痛感させられました。

そのころの私は、毎日、無我夢中で
勤める若輩教師であり、現在のように
特別に研究された指導法を知るよしも
なく、唯、貧乏育ちの教師として、人
間として、当り前のことばをかけて激
励をしたに過ぎなかったことに、深い
反省と、目も見えない人間が三十数年
間も忘れずに、私が教師であることを
認めてくれたN子に、感謝と、健常者
にも優る幸せを祈る気持で一杯です。

(県立安積高等学校御館分校長)

磐梯登山

佐藤常春



六年生を担任した夏休みに、男子十
一名と父兄三名、私と計十五名で磐梯
登山をする機会があった。

当日は大変よい天気にも恵まれ、ゴ

ルドラインから望む磐梯山の勇姿にみ
とれながら、登山道入口の八方平に着
いたのは午前九時頃であった。すでに
大型観光バス数台と自家用車など二十
台近い車が駐車していた。相当数の登
山者おり混雑することを考えながら
しばらく休み登山する諸準備を整えた。
父兄の方に先頭、中間、後尾につい
ていただき万全を期して出発した。登
山道は、はじめは平坦に近いゆるやか
な坂道であったが、登るにつれてひと
足登りの急な登り坂になった。みんな
でがんばれば、がんばれの掛声をかけな
がら登って行った。どの子ども顔に
も疲れの色は見られなかった。

登るにつれて樹木の丈は低く、がつ
しりした根をはり、きびしい風雪に耐
えながら生きている自然木を実感とし
てとらえながら登って行った。

七合目近くまで登って行くと、道幅
の少し広い木陰で額にタオルを当てて
休んでいる三名の都会風の女子高校生
がいた。私が「ゆっくり登りましょう
と声をかけると、「すっかり疲れました
と小さな声の返事が返った。すると
突然O君が「僕たち荷物を背負って
やっぺい」と言った。高校生の一人が
「お願いできれば助かります」そんな
会話のうち、O君とY君は、さっそく
高校生の荷物を背負った。誰もが自分
の荷物だけでも苦労しているのに、よ
くぞ高校生の荷物を背負ってがんばる
気持ちになったなあと感心せずにはい

られなかった。

このO君は日頃学校生活ではつっぱ
り屋なのに、こんなやさしくて力強い
面があることを私は知らなかった。私
は日々の学校生活で一人一人の児童を
十分理解しているつもりであったが、
このやさしい行爲を見て、あらためて
児童理解のむずかしさを感じた。

級友たちは、「O君、Y君偉いなあ、
よし僕たちも弱っている人に会ったら
助けてやろう」と考えてもいなかった
善行の芽が全員の心にはぐくんできた
は、すばらしいことであった。

皆で力を合わせ、弘法清水まで登っ
た。傾斜のある広場では、大勢の人が
それぞれの場所で休んでいた。ここか

ら眺める自然の雄大さは登山してはじ
めて体験できるものであり、やさしい
心や善行が更に美しさを倍加したよう
であった。

児童と高校生は、写真を撮ったり、
住所や名前を教え合ったりしていたが、
別れるとき「ありがとう、ありがとう」
と高校生から何度もお礼を言われ、O
君とY君は今まで見られなかった満た
されたようすであった。他の児童も本
当に満足そうであった。

この磐梯登山での経験が、その後の
児童間や教師との心のつながりを深め
あたたかい学校づくりに役立った、楽
しい思い出として心に残っている。

(田島町立田島小学校教頭)



磐梯山頂でパチリ…………

『教育関係者必携(福島県)』 昭和六十年年度版発行

昭和五十八年度版刊行以後、定
年制導入に伴う条例の新設等、諸
法令、条例、規則等が制定、改定
されたことにより、今回、新しく
昭和六十年年度版を装いも新たに発
行することになりました。

教育関係の方の必携として、事
務処理上等に大いに活用されるこ
とを期待しています。

- 発行日 昭和六十年七月十日
- 体裁等 B六判約千八百ページ
- 編集 教育庁総務課